

I 目指す学校

生徒、保護者、地域等から信頼される安心・安全な学校

「入りたい、入って頑張る 富士森高校」

〈育てたい生徒像〉

学習活動、部活動、学校行事等の全てに積極的に取り組み、進路希望の実現と自己実現に向けて努力を継続する生徒

II 中期的目標と方策

(1) 学習指導

- ①校内・校外での研修等を充実させ、各教員および教科全体の授業力を向上させる。
- ②3年間を見通した教科・科目ごとの指導計画を工夫し、生徒の進路希望を実現できる指導を組織的に行う。
- ③家庭学習の習慣と自学自習の態度を身に付けさせる指導を工夫し、生徒の学力を向上させる。
- ④「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、生徒が学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるように育成する。

(2) 進路指導

- ①3年間の進路指導計画に基づき、放課後・週休日・長期休業日の補習・補講等を行うなど、生徒一人一人の進路実現を組織的に支援する。
- ②キャリア教育を充実させ、生徒の進路実現、自己実現への意欲を高める。
- ③「受験は団体戦である」という意識を浸透させ、第一志望校への合格に向けて最後まで努力を継続させる。

(3) 生活指導

- ①ルールやマナーの指導を組織的に行い、生徒の規範意識や社会性の定着を図る。
- ②保護者や警察等と連携してセーフティ教室等を実施し、生徒の健全育成に努める。
- ③本校の良き校風と伝統を継承させ、生徒一人一人が学校の代表という意識を持って責任ある行動を取れるように指導する。

(4) 特別活動・部活動

- ①学校行事や部活動・生徒会活動等を活性化し、生徒の主体性・協調性を育成すると共に、思いやりの心や社会貢献の態度を育てる。
- ②学習サークル「学びの森」を拡充し、生徒の学力を伸長させて進路実現を図る。
- ③東京オリンピック・パラリンピック実施に向けた様々な活動等を通じて、生徒の積極性やコミュニケーション能力を伸ばし、八王子から東京、日本、そして世界へと羽ばたけるグローバルな人材の育成を推進する。

(5) 健康づくり

- ①校内・校外における全ての活動において体罰防止・不適切な指導の防止に努め、生徒の心身の健康と体力向上を図る。
- ②スクールカウンセラーと学校、家庭が連携し、生徒の発達段階等に応じた課題解決を推進する。
- ③学習指導・生活指導や学校行事・部活動等を通じて、生徒が生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るための意欲と態度を育てる。

## (6) 募集・広報活動

- ①全教職員による、組織的な募集・広報活動を推進する。
- ②教育活動の情報発信を積極的に行い、広報活動を充実させる。
- ③地域に基盤をおいた、地域・同窓会・PTA等と連携した教育活動を推進する。

## (7) 学校経営・組織体制

- ①分掌・学年・教科等で生徒の情報を共有し、教職員間の連携を強化して全校体制で生徒を育てる。
- ②目標達成に向け、予算の重点化と施設の有効活用を図る。
- ③主幹教諭、主任教諭等によるOJTや校外での研修を活性化し、人材育成を推進して学校の教育力を向上させる。
- ④地域・同窓会・PTA等との連携を強化し、安心・安全な学校づくりを推進する。
- ⑤特別な支援が必要な生徒に対しては、「個別の教育支援計画」を作成し、指導に役立てる。特別支援教育コーディネーターを中心に、学校生活を充実させ進路実現につなげる。

## III 今年度の取組目標と方策

### (1) 学習指導

- ①校内研修を計画的に実施すると共に、他校での指導教諭による授業を活用するなど、校外での研修の成果を共有して、各教員、教科全体、学校全体の授業力を向上させる。
- ②年間授業計画と学力スタンダード、定期考査と学力調査等を活用した指導を組織的に行い、生徒の学力を向上・定着させる。
- ③オンライン学習等の環境整備を充実させ、家庭学習の習慣と自学自習の態度を身に付けさせる。

### (2) 進路指導

- ①春期・夏期・冬期講習や放課後の補習等を充実させる。また、早めに講習・補習の日程を周知するなど、実施方法を工夫して参加者を増加させる。
- ②インターンシップ・体験入学や各種検定（漢検、英検、ワープロ検定等）に積極的に取り組ませ、真の第一志望を実現させるための指導を推進する。
- ③生徒全員が受験する模擬試験等を充実させ、全教員が模擬試験等の結果を共有して学年・各教科等での指導に生かし、生徒一人一人の第一志望の実現を推進する。
- ④保護者に対しては、入試制度の勉強会を年4回実施し、生徒への適切な指導を共有する。
- ⑤新しい大学入試に向けて組織的に準備を進め、情報を発信し共有を図る。

### (3) 生活指導

- ①都立高校生活指導指針等を活用し、授業規律の指導、遅刻指導、頭髪、服装等の身だしなみ指導、盗難防止の指導を徹底すると共に、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に全校体制で取り組む。
- ②生徒の自己肯定感を高める指導を行うと共に、交通マナー・自転車の安全指導、薬物乱用防止の指導、インターネット・携帯電話の適正な利用等の指導を徹底する。
- ③校内美化を徹底して校内の学習環境を向上させると共に、校外でも全生徒が節度ある行動を取れるように全校体制で指導を行う。
- ④自殺予防対策として、教職員、生徒からの情報を共有し組織的に対応するとともに、保護者と連携を取りながら生徒の安全確保に努める。また、スクールカウンセラーを活用し早期発見に努め、生徒の悩みに対応することで、自殺防止を図る。

#### (4) 特別活動・部活動

- ①部活動顧問と外部指導員等が連携して実績を向上させると共に、他の活動との両立を支援し、生徒の主体性・人間性を育てる。また、奉仕体験活動やボランティア活動、東日本大震災の復興支援活動等を活性化し、積極的に社会に貢献する態度を育てる。
- ②サポートティーチャー等の外部人材を積極的に活用して、1、2学年も含めた「学びの森」の活動を計画的に行い、生徒の進路希望の実現を組織的に支援する。
- ③海外留学や次世代リーダー育成道場等についての情報提供を行うと共に、7月に留学生を迎え、異文化交流を行うことにより生徒の広い視野を育てる。また、オリンピック・パラリンピック教育の取組等を通じて国際理解教育を推進し、生徒のグローバルマインドを育成する。
- ④オリンピック・パラリンピック教育アワード校の指定を受け、地域と連携を図りながら地域清掃、地域行事でのボランティア活動を通じて、「学校2020レガシー」の構築に向けた取り組みを進める。

#### (5) 健康づくり

- ①教職員はもちろん、外部指導員等に対しても体罰防止・不適切な指導の防止を徹底し、安全・安心な学習環境の中で、生徒の健康づくり、体力増進に努める。
- ②スクールカウンセラーによる1学年生徒全員との面接や生徒理解の校内研修会を行い、生徒一人一人の状況を全教職員で共有して必要な指導・支援を行う。
- ③保健体育等の授業はもちろん、体育祭、歩行会、マラソン大会、球技大会等の学校行事や部活動においても、目標達成に向けた努力を継続させて、体力テストにおける持久走等の種目の結果を向上させると共に、心身の健康を重視する態度を育てる。

#### (6) 募集・広報活動

- ①総務保健部と募集・広報委員会を中心として、生徒による出身中学校の訪問や全教職員による中学校・学習塾等の訪問、学校説明会等を計画的・効果的に行う。
- ②中学生・保護者等のニーズの把握に努め、ホームページや「学校だより」等を活用して本校の特色の発信を効果的に行う。
- ③近隣小・中学校との交流や各種地域行事に積極的に参加し、地域等との連携を深める。

#### (7) 学校経営・組織体制

- ①探究的な学びの実践に向け、プロジェクトチームを立ち上げ、学習環境を整える。
- ②分掌・学年・教科等の連携に加えて本校独自の指導マニュアルを作成し、PTA・同窓会・地域・他校等との連携も強化して生徒一人一人を計画的・組織的に育てる。
- ③自律経営推進予算等の適切な編成と計画的な執行、校内の施設の有効活用を推進し、教育活動の効果を最大限に発揮させる。
- ④各教科・分掌等でのOJTに加えて、予備校等での校外における研修を充実させ、様々な機会・場面を活用して人材を育成する。
- ⑤個人情報管理の徹底や体罰防止・不適切な指導の防止など、法令を遵守した教育活動を徹底させる。
- ⑥防災教育の充実に努め、生徒が災害等に適切に対応できる力を育てる。
- ⑦公開講座や施設開放等を通じて、地域や都民に開かれた学校づくりを推進する。
- ⑧教職員からの積極的な提案を推奨・支援し、新たな改善策を実現・実行させる。
- ⑨ライフワークバランス推進策として、教師が心身の健康を損なうことのないよう業務の質的転換を図り、限られた時間の中で生徒に接する時間を十分に確保し、生徒に真に必要な総合的な指導を持続的に行うことのできる状況を作り出すことを目指す。

- ⑩「東京都立富士森高等学校 創立80周年記念式典」委員会を中心に記念式典の企画の立案を検討し、教職員全体で組織的に業務を遂行する。

#### IV 重点目標と数値目標

- ①一般受験を重視した組織的指導による、大学進学実績の一層の向上  
 ②部活動・学校行事等と学習活動・進路実現の両立の推進  
 ③募集・広報活動の一層の充実と男女別入試倍率の定着

重点目標	数値目標	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
生徒の授業満足度	86%	85%	84%	83%	78%
長期休業中の講座数	80講座	59講座	71講座	110講座	90講座
四年制大学への現役進学率	62%	62%	55%	59%	54%
国公立・GMARCH以上現役合格者数	10名	5名	9名	19名	9名
日東駒専以上現役合格者数	100名	86名	111名	117名	76名
部活動加入率	92%	91%	94%	89%	91%
都大会レベル以上出場部数	15部	7部	16部	13部	14部
文化祭来校者数	4000人	(中止)	3785人	3925人	3330人
文化祭来校中学生数	1500人	(中止)	1339人	1467人	1245人
学校満足度(生徒)	87%	86%	86%	82%	75%
学校満足度(保護者)	87%	87%	85%	86%	85%
入試倍率(最終応募)	1.5倍	1.47倍	1.18倍	1.44倍	1.35倍